

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあつては名称) 株式会社 日立製作所		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒100-8280 東京都千代田区丸の内一丁目6番6号	
本票作成	部署名：株式会社日立製作所 情報・通信システム社 クラウドサービス事業部				
主たる業種	分類コード	29	業種名：電気機械器具製造業		
事業の概要	岡山地区の営業活動及び情報処理サービス業 在館人数：350人				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	日立システムプラザ岡山			
	②	金融システム事業部		岡山県岡山市北区柳町1-1-1	
	③	中国支社 岡山支店		岡山県岡山市北区下石井1丁目1-3	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 3 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度 (5 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input type="checkbox"/> 原単位基準	△ 22.5 %						○
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 26 年度)			目標年度 (平成 31 年度)					
	16,816 t CO ₂			20,595 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成 26 年度) の排出量					
	①	日立システムプラザ岡山		16,528 t CO ₂					
	②	金融システム事業部		237 t CO ₂					
	③	中国支社 岡山支店		51 t CO ₂					
				t CO ₂					
			t CO ₂						
			t CO ₂						

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		CO ₂ / ()	CO ₂ / ()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成 26 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

事業規模の拡大に伴い今後の使用電力量 (→温室効果ガス) の増加は避けられないが、高効率機器・設備の導入により電力量の削減を推進する。
 また、省エネ法に基づき、業務用機器電力量の比 (原単位) の削減では年1%以上の温室効果ガス排出削減に引続き取り組みます。

【目標削減率達成のための推進体制】

情報・通信システム社	経営戦略室	環境推進本部	環境整備センター(EMS推進部門)
	クラウドサービス事業部	日立システムプラザ岡山	設備管理部門 (エネルギー管理員) (第3種電気主任技術者) (エネルギー管理士、省エネ推進に参画)

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
日立システムプラザ岡山	1. 高効率空調機の導入・・・2008年より導入 2. 屋上の遮熱塗布工事・・・2009年、2012年に施行 3. 共用部照明の半分減灯・・・2007年より実施 4. 空調機の稼働台数削減及び設定温度変更・・・2008年より実施 5. 電球(消防隊進入口等24時間点灯)のLED電球への更新・・・2010年に更新 6. リモート温湿監視端末の設置及び増設・・・2010年より順次増設 6. 高効率UPSに更新・・・2015年に実施

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
日立システムプラザ岡山	今後、実施予定分 1. 照明設備のLED化(1号館) 2. 高効率空調機に更新(1号館)

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	有	日立システムプラザ岡山が立地する、岡山リサーチパーク内の森林を保有
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	有	日立システムプラザ岡山敷地内に「小型太陽光発電機内臓(電源)の街灯」を設置(1ヶ所)。
その他	無	

【その他特記事項】

--